

大 塚 人

福岡大学附属大塚高等学校同窓会会報

＜発行所＞
福岡大学附属 大塚高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局/TEL-FAX 092-714-1081
発行人 安藤文六
編集人 平島文彦
＜印刷＞ 福岡総合印刷株式会社

二十一世紀を迎えて



大塚高等学校
同窓会会長
安藤文六

同窓生の皆さんお元気に
お過ごしでしょうか。

さて、二十一世紀を迎える
社会の新しい息吹を感じる
このころです。これからの
時代は、変化の著しい時代
になるだろうと想像します。
情報通信網の革新をはじめ、
今より少子化・高齢化が進
み、経済状況も当面は、一

進一退の状況が続くものと思います。

母校におきましても、少子化の影響で高校生数が減少し、その影響を強く
受けるだろうと思います。私学を取り巻く環境は、年ごとに厳しくなっており
ます。学校の伝統を受け継ぎ、更に発展させるには、先生方の努力だけで
は、どうしようもない状況になってまいりました。他の私学を見ると、さま
ざまな経済的優遇制度や進学保証などを充実させて生徒募集を行なっている
のに対して、母校の場合は、少し遅れ気味ではないかと思えます。

このような折、母校の一層の発展を願って、母校部活等支援「特別会員」
を募集いたします。同窓生が、一体となって母校を支援したいと考えていま
す。たくさんの方の協力が、悪行をご理解のうえ、ご協力していただきたま
すことを心よりお願いいたします。なお「特別会員」になつていただいた皆
様には、特別会員相互交流の機会をつくり、異業種交流や親睦を深めてまい
ります。同窓会では、昨年より、ホームページを開設いたしました。しかし、
まだ全体へ周知できていない面もあり、利用がもう少し少ないようです。ホー
ムページを活用し、同窓会の情報や会員同士の情報交換に役立てていただ
きたいと思えます。

同窓会活動を充実させるには、どうしても年会費の納入率を高める必要が
あります。会費は、郵便局もしくは、銀行からの振込みになりますが、振込
みに行く時間が無いとか、煩わしいということ、振込みが遅れ気味になつて
いることと存じます。ご多忙な方にあつては、数年分の会費を一括して振
込みという方法をとられたら、行く時間が少なくなり楽になるかと存じます。

例年五月の第三土曜日に、同窓会総会を行なっております。本年は昨年と
同じホテルニューオータニで開催します。会場は、交通の便も良いし、中洲
にも近いところです。総会の参加パーティー券は、各学年の幹事が用意して
いますので、ご連絡下さい。なお総会当日も会場で、参加パーティー券を求
めることができます。

皆さまの多数のご参加をお待ちしています。校長先生をはじめ恩師の先生
方も参加されます。久しぶりに旧交を温めましょう。誘い合つてご参加下さい。

新校長就任のご挨拶

創立五十余年の伝統と歴史を持つ福岡大学附属大塚中学校・高等学校校長に平
成十一年より就任することになりましたので、大塚高等学校同窓会会長諸氏に謹
んでひとことご挨拶申し上げますとともに更なるご支援をお願い申し上げます。
本学園が今日、福岡県の私立学校の雄としての地位を確立できましたことは、
ひとえに本学園の先輩教職員をはじめ、同窓会の皆様のご努力によるものと心よ
り感謝申し上げます次第であります。特に学園創期に開かれた先輩教職員並び
に卒業生諸氏のご苦勞は大変なものだったと推察致しております。私ども教職員
は今一度その原点に立ち戻って建学の精神をふまえた本学の教育理念を確立
し、研鑽を重ね、私学大塚学園として特立した生徒指導を実践し、本学園を更に
向上させることが皆様に対する感謝の表し方ではないかと思っております。さて、
先が見えにくい日本経済の状況下において全国的に私立中学校・高等学校の受験
者数が減少傾向にあります。大塚学園のおかれた状況も決して例外ではありません
ん。また、高校進学率97%近い状況の中で少子化傾向は現在も進行中で、ピー
ク時の1990年の15歳人口206万人が2010年は42%減の119万人に推
移するとの予想です。それに伴う公立高校の統廃合・再編成は必至の状況であり
ます。あわせて今日の情報化社会の進化速度は凄まじいものがあり、それにと
ない社会全体における価値観の多様化も進展しています。教育の場においても、
その価値観に対応する必要性が年々高まっています。この様な時代に、本学園の
生徒に望むことは、高い目標を掲げ、自主的に学習し、積極的に部活動や生徒会
活動に参加し、運営に加わり、自己に挑戦する姿勢と自分の考えを自分の言葉で
相手に伝える力を自ら育成することです。また学校という集団生活の場を通し
て社会生活を営むための基本的なルールを身に付け、他者の「いたみ」を理解し、
それを実践で示すことができる「心の豊かな人間性」を形成することでありま
す。教育改革が進むなか、我々教職員一同はこれからの学校づくりをどう進めてい
くか慎重に速やかに、一つずつ解決していかなければなりません。それは大塚学園
に課された社会的使命でもあります。

福岡大学附属大塚中学校・高等学校を取り巻く各級の状況は厳しい部分があ
りますが、輝かしい伝統と歴史を誇る本学園が着実に前進し21世紀の日本をリ
ードし、世界に誇る人材を育成
できるような努力する所在で
す。

同窓会の皆様方の変わらぬ
ご支援とご助言をよろしくお
願い申し上げます。5月の同
窓会総会におきまして、同窓
会諸氏にお会い出来ることを
たいへん楽しみにしております。



校長
青木重夫

新世紀をむかえた大濠スポーツ

昨今、同窓会諸兄から耳にするのは、「最近運動部はどうなってるんだ」という声ばかりです。卒業生にとって、卒業後何年経っても、母校の運動部の活躍は気がかりです。かつての各部の栄光を知っている者にとっては特に胸がゆい思いです。長い目で見てみると、全ての部が一勢に活躍したということはない、そんなにはないのですが、実感としては、男子の部も少々寂しい思いです。さて同窓会としては、新世紀を迎え、今までは違った形で母校のクラブ活動をバックアップしていこうという組織作りも始まっています。本年が復活元年となることを願ってやみません。

さて、その実績を探ってみましょう。本年度の活躍をみてみると、バスケット部はインターハイ、ウインターカップと全国出場を果たし、剣道部も昨夏の玉置嶽はベスト1でした。この2つの部が、継続的に大濠スポーツの伝統を支えているといえるでしょう。昨春は硬式テニス部が選抜大会に出場、バドミントン部は11年ぶりのインターハイ出場に続いて、今春は選抜大会に出場します。

バレー部・サッカー部・柔道部も間違いなく、県でベスト1以上の力を有しています。気になる硬式野球部ですが、最盛期に比べると、ここ10年程度低迷している感はありません。ただ野球の場合、いかなる名門校といえども、長いスパンで続くことが稀ではありません。福岡第一や西武、東福岡が大濠をライバルとして、力をつけた時期があったわけで、今度は再び大濠の出番です。離れの時期をのりこえ、継承する姿も聞かすと信じてやみません。

同様に駅伝部ですが、大牟田高校の都大路での快走が記憶に新しいのですが、あの都大路を例すなら間違いなく大濠です。年があらたまって先の西海駅



アジアジュニア選手権
西崎 佳郎 (3年)

伝では、一区で大牟田をおさえ区間賞、一区では土持池田が更に30秒近く差をひろげ、三区途中までトップでした。今度の年末は大牟田との一騎打ちが期待出来そうです。

我々同窓生は、どうしてもマスコミで大きくとりあげられるスポーツの部の成績ばかりに目がいきがちで、この紙面でもそれらの部を中心に紹介することになりましたが、大濠には他にも多くの部・同好会が存在し、生徒諸君は、それぞれの部で、自己実現にむかって日々、自己磨きに励んでいます。同窓会諸兄におかれましては、それら生徒諸君に對しまして、更なるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

五年目の北京・修学旅行

高校の修学旅行、中華人民共和国への旅も本年度で五年目となった。毎年充実度を増し、初年度の生徒の満足度と今では随分違ってくる。一つには、先生方が多くの経験を積まれたこともあろうが、一番大きいのはやはり中国自体の変化にある。受け入れ側の体勢が整ったといっている。特に北京の変化は著しい。今の北京は「毎日変わる」といわれている。一年経って訪れると驚くべき変化である。

さて今回の旅行の訪問先・見学地は、万里の長城（八達嶺）・天安門・故宮・景山公園・明の十三陵・頤和園・雑技団見学・王府井などは例年どおりだったが、あらたに円明園・孔子廟などがそれに加わった。また初めて、人民大会堂の中を見学したが、大会堂前にバスを何台も停めたのは初めてだろうとのことだった。今回の旅行の目玉は、万里の長城付近の緑化のための植樹であ



万里の長城にて

った。このプロジェクトは日本の企業などがスポンサーとなり、現地の緑化運動を推めている団体と旅行者が協力して、砂漠化のすすむ万里の長城付近の緑を創らせようというもので、一クラスに、600本の割り当てで、植樹を行った。現地に行くまでは、用意された小さな苗木に土をかけるぐらいの形だけの作業かと思っていたが、着いて見ると軍手と、スコップ（日本の物より幅分柄が長い）を渡され、作業は本格的なものだった。作業終了後、A団では生徒会長長の岩島冬馬君が代表として、挨拶を行い、現地の団体より感謝状を頂いた。あれから数ヶ月経つが、どれ程成長しているだろうかと思えるだけでも心おどる有意義な思い出となった。

今秋6年目の北京で一応、中国への修学旅行は完了する予定であるが、年々充実度を増してきているだけに少々残念な気もする。高校生活で一番の思い出はという問いに修学旅行という答えが多いそうであるが、同窓会諸兄はどのような思い出をお持ちだろうか？

本年度入試状況

九州大法学部AO入試3名合格
センター試験も終わり、この会報が出る頃は、私大入試、国立大前期の個別試験も終わっているが、現時点（2/19）での推薦合格などの概要を取材させていただいた。特筆すべきは、九大法学部のAO入試に3名の合格者を出したことであろう。AO入試は昨年からのことであるが、それ以前の推薦から含めると過去6年で法学部には7名、法学部の2名を加えると9名の推薦合格者を出している。本年度は更に、東北大・丸工大・長崎大・福

教大・鹿体大などを含め、国立大学に合計9名の合格。センター試験の推薦の出願も行われているので、その数は伸びそうである。

私立大へは福岡大学の附属推薦・一般推薦はともに例年並み。指定校推薦は文系31大学50名、理系20大学50名の、合計51名の推薦枠が指定された。早稲田大学2名・慶應大学・同志社大学・立命館大学2名・関西大学2名・明治大学・中央大学・東京理科大学3名などがその内容である。また一般推薦でも早稲田大学法学部・教育学部・上智大

学経済学部などにも合格者を出している。スポーツ推薦に關しても12名が既に合格、特に中央大学4名は際出している。

さて一般入試だが、本年はスーパー進学コースが、初の卒業生を送り出すのでその結果が注目される。初年度でもある。来年はいよいよ、中高一貫生の初の卒業でもある。ここ数年の入試動向が気になる。特に国立大上位校の合格者数で、その成否が問われることになるだろう。地元九州大学への出願は堅調ではあるが、本年もある程度の数は期待出来そう。西南学院大学・福岡大学への出願者数は10年前に比べると激減とみてよいが、実質倍率の低下から、合格者数は例年並みと思われる。3年生諸君は卒業式を前後して、本誌を手にすると思うが、国立大も発表前で、後期日程まで頑張らねばならぬ者もいるだろうが、最後まででの健闘を祈りたい。同窓会諸兄におかれましては、後輩の努力を見守っていただきたい。

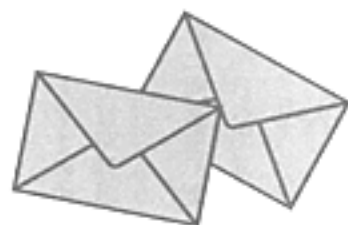
黄綬褒章 受章記念祝賀会

平成12年7月26日(金)午後8時、水戸ビルニューオータニで、同窓会々々長安藤文六氏の黄綬褒章受章記念祝賀会が盛大に行なわれました。安藤文六氏は、多年に亘る同窓会活動の向上発展に尽くされた功績により、平成十一年度秋の褒章に際して、黄綬褒章の栄に浴びていただいたのです。

このたびは同法人会館緑化家室芸芸九州支部の主任により、安藤文六氏の存在に際して、贈り物とご功績を称え、受章記念祝賀会が執り行われ、なご、同氏は平成九年七月にも建設大臣表彰を受賞されました。



支部だより (各支部からの報告)



- 関東支部
- 東海支部
- 鶴友会
- 関西支部
- 筑紫支部
- つつじ会
- 福大医学部支部
- 粕屋地区支部

関東支部



「ミレニアムから新世紀へ」東京では本年開始にかけ「東京ミレナリオ」が、光の彫刻」として、光り輝く、二十世紀を祝しました。千年紀当支部の第十八回総会は十月二十一日（関東は十月の第三土曜日）、青木校長・安藤同窓会会長を始め、関西・東海両支部の代表参加のもとつつがなく終りました。

催事としては、柳家小團治師匠の落語、人情の機微と寂のきいた話術に一刻を過ぎました。

年間行事としては特に「大海原で健康になる会」海水浴・釣り会を計画、事情により「魚を食べる会」となりました。海のオゾンと新鮮な魚貝類で、英気を養うことが出来ました。十三年も季節感を取入れ、融和結束と英気を養うこととしたいものです。合わせて親睦を兼ねて「小旅行」を同伴で思っています。

「文武両道の大濠」母校の益々の発展を祈念しています。連続出場のパスケットボール部の全国選抜大会出場に熱い思をこめて応援しました。伝統と実績ある各部の全国大会参加、上京を心から期待し待っているところとです。

新ためて「買実剛健ニシテ明朗闊達」の校風を思い出しております。原点に帰るとの言葉がありますが、同窓生の親睦と母校の発展を図る為にも、校風への感を新たにしていきます。新しき年・辛巳年、会員の

結束・参画意識を高める必要を新めて痛感しています。政治・経済の中枢に位置する支部として、当面、新規に支部会員名簿の作成を、早急な課題と提えています。

「キンシャイ待つとるパイ」を合言葉に、母校に思いを馳せつつ来る、十周年を目標に前進あるのみです。同窓生各位よろしく御指導・支援・協力をお願いします。

(事務局 斎藤昭彦)

関東支部のみなさん



第十八回総会

東海支部



福岡大学付属大濠高等学校、東海支部は平成6年結成以来7年目を迎えました。

現在の会員数は32名と前年より13名の増加となっておりますが、まだまだPR不足であり、本部並びに各支部のご支援をいただき会員の獲得努力を続けていきたいと思っておりますので、宜しくお願致します。

昨年の11月18日(土)第6回東海支部総会を開催致しました。

会員16名が参加、来賓としてお忙しい中、母校より今津教頭、同窓会本部より光安・郡田・木村副会長、関西支部より重木支部長、関東支部より高木会計幹事にご出席いただきました。

会では初めに江崎新支部長のご挨拶をいただき、業務報告、会計報告等と滞りなく終え、おまちかねの懇親会へと進みました。今津教頭より母校の勉学並びにクラブ活動での発展ぶりや、全国各地でのOBの活躍ぶり等のお話をいただき、会員、同懐かしくも又頼もしく聞き入った次第でございます。

次に本部並びに各支部の報告があり、特に会員獲得についての苦労談には同様の悩みを持つ各支部としても共感すると共に、今後の参考として深く心に受け止めていただきました。

今回、初参加の方々には初め多少硬さが見受けられましたが、そこは同窓会のみよしみ、お酒が進むにつれ、かつて教えて頂いた先生方の、ここでは書けない様な貴重な(?)お話の数々、自身の近況報告等相気あいの中、会は進行して行きました。

恒例の来賓並びに有志のカンパによる抽選会が始まる頃には大盛況。当選者が出るたびに歓声上がり、おおいに盛り上がりました。

締めは、校歌斉唱。個室ではなかったの他のお客様に断りを入れ、学生時代を思い出し力いっぱい歌いました。まさに感動的、他のお客様にも盛大な拍手を頂き(ひんしゅくを買ったかも知れませんが)、胸にこみ上げるものがありました。

次に酔いも覚めぬまま、いつものスナックへ。全員座れず若手はカウンターの中心でボーイへと変身し、深夜まで全員が日頃鍛えしのどを披露致しました。

厳しい経済環境の中、久々に同窓生が集い元氣を出しあった一夜は、明日への活力へと繋がる大変有意義なものとなりました。

ところで、東海支部では平成12年11月1日付で役員の変更を行いましたのでお知らせ致します。

新支部長 江崎義昭（8回生）

前支部長 藤原鑑徳（3回生）顧問に就任

江崎新支部長のもと、組織の向上等に向け頑張って参りますので全国のOBの皆様、ご支援の程よろしく願います。

P.S. いつもの「スナック」とは・・・「プチ華」

毎月第3木曜日19:00～会員が集まっています。OBの皆さん是非お立ち寄りください。

東海支部のみなさん



（熊本出身の美人ママのご厚意で低料金となっています）

場所：名古屋市東区錦3丁目8-15（第2錦スカイビルB1F）

TEL：052-953-0825

鶴友会



鶴友会（福岡市役所支部）の平成12年度総会が、去る平成12年10月20日、平和楼本店（中央区天神）で開催されました。

今回の総会では、新たに副会長に武田隆氏（十三回卒）、常任幹事に、江本信行氏（十一回卒）、安武章氏（十六回卒）を選出し、発展する鶴友会の役員の充実を図ったところです。

第一部総会では、本村泰之丞会長（八回卒）の議長のもと、決算、予算等の重要な議案は全員一致で可決され無事終了しました。

第二部懇親会では安達常任幹事（二十一回卒）の司会により進行し、最初に本村会長が挨拶を行いました。

来賓として青柳福岡市収入役、青木校長先生、同窓会本部より安藤会長及び本校出身の市議会議員の参加をいただき、それぞれの挨拶のあと、なごやかに懇親会を開催いたしました。

懇親会は、和気あいあいの中で進み、一年振りの旧友、恩師との再会もあり、思いで話は尽きず時間を忘れて友好を温めました。

すでに退職された、浅田先生も参加されました。大変お元気で、昔よく叱られたこ

とをみんなが思い出したようでした。

最後に来賓の方々も一緒に全員で肩を組み、校歌を合唱。母校及び同窓会の益々の発展を祈念し、万才を三唱して盛会のうちに閉会しました。

（鶴友会 幹事長 第八回卒 諸岡 誠一）

鶴友会のみなさん



関西支部



今年、輝かしい21世紀を迎え関西支部も新たな歩みを始めます。

昨年の全国高校駅伝で久しぶりに福岡県代表校の優勝が大躍勢の勇姿と浮かび重なり、諸先輩方と京都の沿道で声を枯らして声援を送ったことが昨日の如く蘇りました。

昨年は2月の新年会を始めに3月、市村浩一郎君（第30回卒）が兵庫6区より衆議院に民主党公認で立候補することによって4月の花見会は市村氏と担任の先生を迎え盛

大に行いました。また、4月15日、重本会長が「市村君を応援する会」の副会長兼高校（大塚）OB会長に任命され「設立記念のつどい」には関西支部より後藤、佐々木、小嶋、舩水、宇佐美氏らが同窓生として参加し微力ながら応援して参りましたが、地域的なハンデ（兵庫6区在住の同窓生3名）は克服できず、善戦は致しましたが、今、歩及ばず次回の好機に「再挑戦」との運びとなり、関西支部も引き続き支援、協力を惜しまぬ所存です。市村氏の今後の活躍を会員一同、期待しております。

森山投手を従え母校が甲子園出場を果たした昭和56年、そこに行けばはかたがある。いつでもさかんしゃい同窓会へ」をモットーに再結成された関西支部も早や20年が経ちました。7月には、20回記念総会を兵庫県箕面市の「みのお荘」にて行いました。総会には青木校長を始め来賓の方々の多数のご出席を賜り、初代同窓会会長岡田先業（第一回卒）と二代会長藤野先業（第一回卒）、両氏の長年の関西支部発展への貢献に対し、現会長重本先業（第七回卒）から

関西支部のみなさん



平成13年1月16日

お礼の言葉と関西支部一同より感謝状の贈呈など盛会の内に無事総会を終えました。その後の懇親会は深夜に及びましたが、それでも思いを語り尽くせませんでした。貴重なひと時を過ごすことが出来ました。

8月にはビアーパーティー、12月は忘年会と恒例の行事を会員皆様方の参加、ご支援のもと無事におえることができました。とを幹事一同喜んでおります。

今後の母校大濠高等学校の益々の発展と関西支部の会員各位の更なる支援と協力をお願い致します。

(第17回卒 西村政彦)



筑紫支部



会員の皆様方も日夜頑張られておられる事と思います。慌ただしかった20世紀が過ぎ去った今日、いまだにバブル崩壊の影響

を受け、日本経済に赤信号がともったままの状態が続いています。

我々仲間のお互いの皆様方も試練に耐えられている事だろうと思います。

こういうときこそ大濠人としての精神力でがんばってもらいたいものです。

さて筑紫支部では平成12年12月15日、その年最後の理事会を太宰府市の山賊鍋で聞き、今後の方針について話し合いました。

そこで平成13年度の総会を、4月に開催することにしました。詳しい内容は後日お知らせします。会員の皆様の多数の参加をお願い致します。

2年前に筑紫支部理事会で大連外国語学院(日本語学校)を訪問したときに大変お世話になった藤先生を招いて「現代の中国」についての講演会を予定しておりましたが、日程がとれず今回は見送りとなってしまいました。そこで私が1992年からビジネスの相手先の中国について、見た事、経験体験をもとに30分ぐらいのトークを予定しておりますので、是非参加される様お願い致します。

うんごう会



大濠つつじ会総会開催

平成十二年九月九日(土)午後六時三十分より、大濠つつじ会の第十一回総会が、久留米グリーンホテルにおいて開催されました。

役員改選の年になっておりましたので、式次第において、活動・決算報告・監査報

告等の後に、役員選出が行なわれました。選考の結果、前年に引続き、竹岡宗磨氏(第九回卒)が全員一致で、支部長に再選されました。

青木校長先生、安藤同窓会々長の祝辞を受けた後、乾杯を行い懇親会となりました。

旧職員の浅田先生をはじめ、学校や同窓会本部からも沢山の参加がありました。

例年のように、ジャンケンにより、おみやげを選ぶ、「ジャンケンゲーム」で会場は盛り上がりました。大濠つつじ会支部は、毎年九月に久留米グリーンホテルにおいて総会を行なっています。久留米市周辺にお住いの方は、お誘いあわせの上、多数ご参加下さい。

(大濠つつじ会幹事長 豊福光明 第11回卒)

つつじ会のみなさん

第11回 大濠つつじ会総会



福大医学部支部



「教育」と「EDUCATION」と「同窓会」

「107名」、この数は、母校出身の我支部の人数です。福岡大学の中では大濠会は風前の灯になってしまっています。大学全体の支部も自然消滅してしまつたと聞きます。マア大学生になって何時までもハイスクールボーイ気分も無かろうとは思いません。これも又、大濠卒の気性なのでしょう。我々の支部は、全員が同じ職業に付きまますので、将来に亘って永く関係を持たざるを得ない宿命が有ります。23年間に、OBから国立大学医学部教授も出ましたし、卒業総代も出ましたし、開業医、勤務医、研究者全ての分野にOBが居るといふ状況にヤツト成りました。福岡市中心に広く開業医が増えていけばどこかで、他の大濠OBの病気の相談、治療を担当する事になると思います。大変手前味噌になりますが、OBの一人として客観的に見て大濠OBのドクターは、ナカ々臨床能力が確かな良い医師が育っていると思えます。ところで、今母校は、成熟期に入りつつあると思えますが、大濠高等学校と書きます。ですから「高等教育」の一翼を担う教育機関としての学校と位置付けられていると思えます。高等教育目的として大濠の中の一つとして、色々な分野で「核リリーダ」になる人材をいかに輩出して行くか?という命題があると思えます。そして、「核になる人材を育む」

と言う言葉を、いかに定義するかは、母校で教育に携わる教職員の人心に問われる大きな命題の一つだと思います。従来の感覚では、卒業後成人になって、或大きな組織の「トップ」に成る事が、一つの「核」になると言う定義の一つになっていったと思いますが、21世紀は、「起業する能力」を問われる時代とも言われます。エリートの定義が大きく変化する時代とも言われていいます。そして、特に、「強烈な独立心、責任感、知識欲、などが自己実現の為に、特に要求される個人能力になってきます。加えて、真摯な粘り強い、タフな精神、独創性が、個人々に非常に要求される時代が来る。」との予想を、シリコンバレーの中核機構のスタンフォード大学々々長（因みに、スタンフォード大学は私立大学です。）が話していました。又、この教授は、この様な資質を持つ人間達を教育、育成する事は、自ずとこれから（21世紀）の社会の中で今後必要とされる良いリーダー（人材）を育成することに繋がって行くだろうとも予想していました。この人間の資質は、先天的に備わっているモノでは無く、後天的にトレーニングされて備わって行くモノであるとも話していました。21世紀は、益々「教育」の重要性が問われながら、「大競争IIメガコンペティション時代」に突入して行き、そこで勝敗が出てくる時代とも予測していました。続けて、一般の日本の表現として、教育の目的は、「良い人間」を作る事である。と言われますが、これは「初等II中等教育」の目的であって、日本で良く言われる「協調性」だとか「人に対する

優しさ」などに付いては、この欧米人の教授の「初等教育」の頭脳の概念の中では、「教育」などと大上段に構えて言う思考は、全く無く、子供として普通に身に付けねばならない単なる「エチケット（教養）」レベルの話で語られてしまっていました。そして、「初等II中等教育」と「高等教育」と、「教育」と語尾に付く言葉の主旨内容を、明確に峻別して話していたのが、大変印象的でした。「教育」と言う日本語で考える我々の概念と、「education」と言う英語で考える欧米人の概念が、何か根本的な解釈の所で微妙に違っている様に感じました。そしてヒョップとして我々日本人は、「education」と言う明治時代に入って来た外国語を、「教育」と言う日本語に翻訳した時に、日本で言う「しつけ」を、間違つて「教育」と言う言語解釈の中に入れてしまったのではないかと、フと思いました。そして又小生が、一番感じたのはこの話をしていた学長の話の内容が、非常に具体的で、常に現実的であり目的戦略がハッキリしていて明確な事です。それと比較して日本の教育者の話は、非常に概念的、観念的な話に終始するのと全く異っている事に気が付きました。又、アーナルホドと感じたのは、「education」と言う言葉について具体性、現実性を基礎に、思考を進めて行く事と、観念性、概念性を基礎に思考を進めて行く事では、何が違ってくるのかな？とも考えてみました。すると前者では、時代々により色々な多様性を持つ思考が物凄く要求される様に思われます。そして、そこに在るキーワー

ドは、この言葉を持つ「無限の可能性」が強調されると感じます。そしてそれを実行する為には、必然的に「獨創性」が必須条件になって来ます。後者では、どうしてもこの言葉の「普遍性」を追求する方向になつてしまうのではないかと考えました。そして結果として前者には、「多様性」と言う子供が生まれ、後者には、「均一性」と言う子供が生まれたのではないかと考えます。今の日本語（漢字）で言う「教育」は、或時代には成功したと思います。しかしこの「普遍性の探求」は、人類は、歴史上、面々と努力、思考してきた事です。が、しかし「普遍の真理」とやらはドウモ無いのではないかと薄々分かってきた様で、どうも「現在（今）」と言う「真実」しか無いと、哲学者達も、大体結論付けたのではないのでしょうか。そして、この永遠の命題、「普遍性の探求」の解答作りに熱心になるが余り、「現実」と言う事実に対応が必要になった時の、「獨立心」や「責任感」と言われる、必携道具の名前だけを知つていて、本当の使用方法が分からない人間、又は実行行動が出来ない（しない）人間が、この世界にも知らぬ間に増えているのかも知れません。それに加えて戦後に「イデオロギー」と言う、「麻薬（最強の習慣性鎮痛薬品）」と類似のモノが、多分この世界にも混入してしまつていて、多分この世界で、この大切な道具の影が益々薄くなつてしまつて機能不全を起こしてしまつたのを、我々は、今、「教育の危機」と叫んでいるのかもしれない。そして今迄「同窓会」と我々が呼称して来た組織も、このパ

ラドックスの中で暗黙の内に影響を受けている、かもしれない。前述した「初等II中等教育」機関の一部としての感覚で母校を捉えた同窓会と、「高等教育」機関の一部としての感覚で捉えた同窓会とは自ずと同窓会のスタンスが変化して来ると思いますが。前者では、単なる「仲良しクラブ」に成るでしょう。後者では母校を、より上質な教育機関にする為に動く（働く）事、その事がどの様な果実を生み、我々同窓生にどの様な形で益となつて帰つて来るのか？、それを生み出す為には何をしなければいけないのか？、何が要るのか？等、その意味を全員が理解した上で、高度で綿密な戦略を、計画、駆使し、資金投入したりと、割りと「煩わしい組織」になるでしょう。どちらを私学同窓生の我々が選択するのか？が我々に突き付けられた課題と小生は解釈します。日本では大体前者タイプが多い様に思うのは、小生だけでしょうか？又、「仲良しからビジネスへ」の構図が、良く話に出ますが、これは大切な事ですが、本来の同窓会と言う組織の本当の目的では無く、後者において成功した共同体が、当然な結果として甘受できる美味しい果実の一部として、「仲良しからビジネスへ」があると考える方が正しい解釈だと思います。これを第一の目標に置いておいては、絶対に、この美味しい果実は食べる事は難しいし、パワーは出ないし結束固い同窓会組織は作れないのではないかと、この学長の話聞いていて思いました。

訃報

野田 雅夫 先生 (68才) 平成12年10月3日
 山本 長三 先生 (75才) 平成12年12月19日
 中野 繁喜 先生 (77才) 平成12年11月9日
 是松 茂男 先生 (85才) 平成13年2月14日
 ご冥福をお祈りします。

「Education」について母校教育スタッフと対等に議論出来る理論的素地があるからこそこの現象と見ます。また卒業生に、自分はこの教育機関の「株主」であると言ふ意識が強いのも欧米の特長の様に思っています。「どこの？、何を狙って？」を母校関係者が、明確な、十分な根拠を持って議論出来る力(共通の価値観)を持った時、一級の大人の組織が完成するのではないかと考えます。21世紀は、我々、私学大澤同窓会が、真から脱皮出来るか否かを問われる時期を迎えている事に早く気が付くかどうかの世紀と思えました。以上を持ちまして福大医学部支部の御挨拶にさせて頂きたいと思っております。

(福岡大学医学部支部長 高木 忠博)

粕屋地区支部

粕屋地区支部誕生

平成12年11月18日(土)八仙閣において、正午12時より粕屋地区支部の発会総会が開催されました。

粕屋町の太田健策氏(第9回卒)を中心に支部発足の準備が進められていたものです。

発会総会は、今までの経過説明から始まり、規約の承認、役員紹介、会長挨拶そして来賓紹介及び挨拶の順に進められました。粕屋地区支部の新支部長には、太田健策氏が推薦され承認されました。来賓挨拶は青木校長先生、安藤同窓会長からお祝の言葉が述べられました。



祝宴では、同窓生による祝舞が披露され、盛大な拍手がありました。乾杯の後、懇親会に入りました。

粕屋地区支部は古賀市、粕屋町、須恵町、志免町、新宮町、宇美町、久山町、薩栗町を範囲として構成しております。

粕屋地区にお住まいの皆さん、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

※お詫びと訂正

前号の会報の中で太田健策氏の電話番号が誤っていたので、お詫び申し上げますとともに訂正致します。

TEL (938) 2615 (自宅)
 太田 健策 氏

三八会の鎮魂歌

「野田先生青春を有難う」

我々は青春を野田先生と共に歩んだと言

っても過言では有りません。なぜなら15才から18才を大澤高校で過ごさせてもらったからです。三八会の寄りの時は必ず吉賀先生・池田先生・田原先生と一緒に出席して下さいました。我々と一緒に、飲み、語り、騒いでそして肩を組んで校歌を歌って下さいました。先生達のご出席無くして今の三八会の発展は有り得ませんでした。

そして又、毎年、大澤高校同窓会総会にて先生とお会いするのが楽しみでした。でも今年はずっとお顔が見れないのかと思うととつても淋しい気が致します。三八会の仲間が他界した時「俺より先に逝くやつがあるか」と本当に心から激怒しておられた

先生の顔が今でも臉に焼き付いています、それほど三八会の皆には気を付けて下さった先生がこんなにも早く逝かれるとは本当に断腸の思いが致してなりません。

何も恩返しが出来なかった自分が情けない、そう詫びながら、先生の遺影の前で「大澤高校校歌」を三八会の皆と一緒に歌いました。歌い終わった時、写真のお顔は、にっこりと笑っておられるように見えました。

「野田先生！先生の指導よろしきを得て培った大澤魂は今でも私達三八会の心の中に息吹いております。」とその笑顔にお答えしました。ほんの一時、時間が止まったように思われ、先生と過ごした過去が走馬灯のように脳裏を駆け巡りました。夢のような気持ちの中で棺を背で担ぎお送り致しました。2001年21世紀になっても、我々の青春の思い出は変わる事は有りません。

そうです、野田先生は生きていらつしゃいます、我々三八会が続く限り。大澤高校での三年間、三八会同窓会、そして青春の心を忘れない限り、皆の心の中に野田先生は生きていらつしゃいます。そう考えるのは私一人でしょうか？

合掌 (三八会 世話人 高原康造)

追伸 三八会ゴルフの会では毎月第2土曜日にゴルフ会を行っています。皆様のご参加をお待ち致しております。ご希望の方は、

ゴルフの会々長 江頭龍彦
 TEL (713) 8191へ

組織委員会より

組織委員会では、各年次およびジャンルなど同窓会開催を呼びかけることと、支那決定を促してまいりました。

これまでに、関東支部、関西支部、東海支部、ついでに会支部、筑紫支部、福岡市役所支部、福岡大学医学部支部、伊都支部とつねつねに出来、昨年11月には、粕屋地区支部が発足いたしました。

また、会員相互の親睦をはかるために、ソフトボール大会、ゴルフコンペ等も開催してまいりました。

移動の激しい時代に、同窓会を開くことにより、所在判明に役立っております。

今年1001年は、これまでの活動を原点とし、新たな発想を加え、一段と躍進したいと思っております。

そして、21世紀スタートの記念すべき長寿年にて、同窓会を思い立ちたいと考えています。

特に、4回生の卒業45周年を皮切りに、9回生(40周年)、14回生(36周年)、19回生(30周年)、24回生(25周年)、29回生(20周年)、34回生(16周年)、39回生(10周年)、44回生(5周年)と、節回の年に当たります。是非、果敢として欲しいと思います。役員候補の呼びかけ、ご参加のお願い、バックアップしたいと思っておりますので、開催される折には、同窓会事務局へご連絡下さい。TEL(714)10081

同窓会事務局

(組織委員長 吉開分彦)

TEL(714)10081

趣意書

母校部活等支援「特別会員」募集

一昨年、創立五十周年を迎えた母校は次なる飛躍百周年をめざして新たなスタートを切りました。しかし前途には非常に困難が待ちかまえています。経済不況、少子化、情報通信の急激な変化、世代意識の変化など私学を取りまく環境は難しい状況となっています。伝統を保持することは現場の指導者の努力だけではもうどうしようもない状況となりつつあります。他の私学のさまざまな奨励制度(経済的な面)進学保証などに対して大津高校は一歩遅れ気味です。又この不況下、卒業生に経済的困難で途中で学業を断念する生徒もいます。このような生徒を卒業まで見守ることも使命の一つではないでしょうか。同窓会はこのような状況のもと、新たな組織「特別メンバー会員」を募ります。異業種交流、親睦のために年に数回集まりメンバー相互の健全な交流、奨励の場を提供したいと思っております。お納めいただいた資金は部活補助、奨学金に使います。どうぞご賛同御賛同の上是非ご支援ご協力をお願い申し上げます。

記

年会費 1万円

パーティー(交流会) 年数回

会費名簿の発行

平成12年7月吉日
福大附属大津高等学校同窓会
会長 安藤文六
担当副会長 山下 邦生

「特別会員」申込書

氏名	卒業年次	年	回
住所 〒	TEL	FAX	
職業・勤務先	TEL	FAX	
年会費・送 萬 円			

※別紙の返却用紙(3人-5人)をらひ御返却ください。ご協力御願ひ申し上げます。

変更通知は必ず
出してください！

住所・氏名・勤務先等の変更について

- 現住所は、町名番地等変更の場合、すぐご連絡ください。
 - 読みにくい氏名・地名にはフリガナをつけてください。
 - 変更の箇所を朱書きなどでお示しください。整理上便利です。
- [ホームページアドレス<http://www.culture-dome.or.jp/ohori/>]
同窓会へのご意見ご要望や同窓生の消息などの情報をお寄せ下さい。

特別会員年会費・同窓会年会費

同窓会の大いなる発展のために、
よろしくご協力ください。

同窓会年会費 1,000円
特別会員年会費 10,000円

《納入方法》振替用紙(指定)を用いて
最寄りの郵便局でお払込み下さい。

副会長 郡田紀久雄(財政委員長)

第48回 定例総会(案内)

- 日 時：平成13年5月19日(土)
午後6時より
- 場 所：ホテルニューオータニ博多 3階
(福岡市中央区渡辺通1-1-2)
- 会 費：5,000円(多数の催物あり)

※会員の皆さん、お誘い合わせの上、ご参加下さい。
前売券は、各回幹事が販売中(当日受付可)
担当理事副会長大野治憲(13回卒)

編集後記

40才を過ぎてここの一二年やたら同窓会(クラス会)の回数が増えた。小学校・中学校・高校のクラス会。気がついたことがある。小学校・中学校の同窓会に行っても、大津人が何人もいることだ。二次会のメンバーがあまり変わらなかつたりする。皆それぞれ職域・業界は異なっているが、それだけに「大津おそろい」という感じだ。卒業生諸君頑張り!!